

近代東京名所研究の課題 ～史資料に表現された江戸東京

※表紙地図『風俗画報 第二百八十号 四谷区之部下』

法政大学江戸東京研究センター「江戸東京のユニークさ」プロジェクト 研究会

【開催日時】2018年11月15日(木) 17:00 時～20:00 時

【場所】法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナードタワー25階B会議室

【内容】

- テーマ「近代東京名所研究の課題～史資料に表現された江戸東京」

徳川の「江戸」から天皇の「東京」へ。江戸の名所は東京の名所に引き継がれたのか、断絶したのか、それとも新しく生み出されたのか。なぜ人びとは名所を欲するのか。都市の変容と名所記述の特徴を、明治・大正・昭和に作製・出版された様々な地図・名所図会・観光ガイドブックなどの史資料、そして随筆家・洋画家である木村荘八が描いた東京をもとに検討し、近代東京名所研究の新たな課題を考える材料とする。

米家志乃布 (法政大学教授)

近代東京の名所～地図・名所図会・観光ガイドブックから

横山泰子 (法政大学教授 江戸東京研究センター長)

木村荘八が描いた東京名所～居住者と散歩者の視点

コメンテーター:

陣内秀信 (法政大学特任教授 前江戸東京研究センター長)

主催 法政大学江戸東京研究センター

EToS 江戸東京研究センター
Hosei University Research Center for
Edo-Tokyo Studies

(問い合わせ・諸手続きについて)
法政大学江戸東京研究センター
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 九段校舎別館1F 国際日本学研究所内
Email: edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp

